

## オープンイノベーション推進機構 活動報告 「イノベーションリサーチ（IR）交流会」

研究者やコーディネータ等が会員企業と現場で交流することで、企業の悩みを解決し、革新的技術や製品の開発に結びつけるイノベーションリサーチ交流会（IR 交流会）を開催しています。産地に出向いての交流（産地ニーズ型）、企業に出向いての交流（企業ニーズ型）、研究室に招いての交流（研究室紹介型）を実施し、研究現場や先端研究設備に触れる中で、課題解決に向けた情報交換を行っています。

これまで、7月27日に福井県工業技術センターで開催された繊維企業グループによる交流会を皮切りに、11月末までで合計22回のIR交流会を開催し、新連携によるイノベーション創出を目指しています。

### 1. 研究室紹介型 IR 交流会（IR 交流会 in 工業技術センター）

日 時：8月25日（火）

場 所：福井県工業技術センター

県内大学の産学連携コーディネータや県内商工会議所の経営指導員、金融機関の融資担当者らを招き、研究室紹介型IR交流会を実施しました。福井県工業技術センター所長から挨拶の後、ふくいオープンイノベーション推進機構の事業計画などの概要説明のほか、福井県工業技術センターの利用方法などを説明しました。



その後、県内大学や支援機関のコーディネータについて、略歴や実績、業務、現在の所属と産学官連携などに關し紹介させていただき、以下のようなご意見を頂きました。

- ・企画開発系、新規事業探索を通じて産業化支援を行っている
- ・どこに相談に行くべきか迷ったらお越し頂きたい
- ・全ての関わりを持つ企業様について、深い興味を持って接しさせて頂いている
- ・いろいろと皆様の支援をしたいと思っているので交流会をご活用頂きたい
- ・学生の指導経験を生かして企業様の支援を行いたい
- ・ニーズとシーズの組み合わせは重要であり、その背景にあるマーケットを常に想定して開発に携わりたい
- ・地域活性化のためにお役に立ちたい
- ・企業のニーズがあれば全国の地域とマッチングすることも可能である

次に、福井県工業技術センターの研究等に案内し、CFRP 研究開発・技術経営センター（炭素繊維複合材料研究室）、3D 試作センター（3D プリンタ、金属光造形装置）、人工気象室、無響室（無響音場装置）・残響室（定常音圧発生装置）、などの最新設備の現場見学を実施し、参加者に県工業技術センターの取り組みを紹介しました。



3D 試作センター



無響室

## 2. 研究室紹介型 IR 交流会（IR 交流会 in 福井工業大学）

日 時：10月19日（月）

場 所：福井工業大学

企業研究者や支援機関の職員（産学官連携コーディネータ、県内商工会議所経営指導員、金融機関担当職員、公設試研究職員）などを招き、研究室紹介型 IR 交流会を実施しました。

地域連携研究推進センター長の羽木氏からは、「本学は県内の金融機関や自治体、商工団体と相互協定を結び、地域貢献を果たしている。FOIP を活用し、更なる地域産業との結びつきを強めたい」との挨拶がありました。その後、衛星、ロボット、原子力、食品、デザインをキーワードとした福井工業大学での特徴的な研究が各担当教授から紹介されました。研究紹介の後、デザイン学科、環境・食品科学科、原子力技術応用工学科の学内見学会が実施されました。



センター長より産学官金の取組紹介



デザイン学科での作品見学



3D プリンターの活用紹介



環境・食品科学科での装置紹介

### 3. 研究室紹介 IR 交流会 (IR 交流会 in 福井高専)

日 時：11月17日（火）

場 所：福井工業高等専門学校

同じく学術機関研究室に企業や支援機関を招き、研究室紹介型 IR 交流会を実施しました。地域連携テクノセンター長の吉田氏からは産官学連携活動などが紹介されました。また、亀山氏から次世代農業での地元企業や自治体と連携した研究、辻野氏から無人航空機等を用いた地理情報システムなどの研究シーズ情報が提供されました。さらに、共同教育、知的財産、産官学連携をそれぞれ担当するコーディネータの紹介がありました。

その後、地域連携テクノセンター（分析計測室1、デジタル造形室）、機械工学科（創成教育ラボ2）、環境都市工学科（水理実験室、構造材料実験室、造波実験室、地震工学実験室）の主要設備の学内見学会が開催されました。地元企業からは、「地元学術機関や試験研究機関のシーズ技術を、何とか自社に応用し、他社との差別化に活用できないか検討したい。」との声をいただきました。

今後、福井大学においても12月中旬に研究室紹介型 IR 交流会を予定しております。



センター長からの制度紹介



产学連携担当コーディネータ



機械工学科での試験機



水理実験室、開水路実験装置見学

お問い合わせ先：技術経営推進室 松井